

様式第 3 号(第 9 条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし悠学カレッジ推進会議		
開催日時	令和 6 (2024) 年 1 月 3 1 日 (水) 午後 2 時から午後 3 時まで		
開催場所	図書館学習交流プラザ サンライズ 多目的室		
出席者	【委員】 宮嶋總三郎委員、吉岡俊明委員 佐野鎮代委員、佐々木憲夫委員 間澤優子委員 【事務局】 二子石課長、林副主幹、河合主事		
次回開催予定日	令和 6 (2024) 年 7 月		
問合せ先	教育部生涯学習推進課 河合 電 話 0561-34-3111 (直通) メール gakushu@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
審議経過	「別紙のとおり」		

典 礼	定刻となりましたので、只今から令和 5 (2023) 年度第 2 回悠学カレッジ推進会議を開催いたします。始めに礼の交換をお願いしたいと存じます。一同、ご起立ください。一同礼。ご着席ください。それでは、次第に基づき会議を進めさせていただきます。 始めに、生涯学習推進課長の二子石からあいさつを申し上げます。
生涯学習推進課長	本日の会議でございますけれども、昨年 3 月の会議で、みよし市の近隣の自治体の講座の状況だとかを把握するといいというようなことでご意見をいただきましたので、後ほどその調査の状況のご報告をさせていただきたいと考えております。また、中学生が今どんなことを学びたいかという中で、パソコンを使ったプログラミングに興味があるという意見もいただいております。そのようなことがありましたので令和 6 年度は生涯学習講座にいきなり入れ込むのではなくて、試験的な開催をしてみてどれくらい中学生が集まるんだろうかと、事前に実は教育委員会の先生方にもどうだろうか和相談させていただいたら、結構集まるんじゃないですかというような話もいただいておりますので、生涯学習講座に入れる前に 1 回プレというような形でやってみようかと考えています。そんなような形でいろんなところからご意見いただいて、実施できそうなものはできるだけ実施をして、将来的にはそのパソコンを使ったスキルは、これから先必要なスキルということで認識しておりますので、そういったものもやっていこうかなと考えております。あと、本年度から、ここのサンライズ以外でも、おかよし交流センターで、講座を開催しております。順調に開催できてるような様子もありますので、そういったところも実績だとかを紹介させていただければと思います。また、皆様からこの会議の中で、令和 6 年度こんなこともどうだというような意見がいただければ幸いです。忌憚のない意見をいただければと思います。どうぞ本日はよろしくお願いいたします。
典 礼	それでは、次第の 2 に移ります。資料 4 の「悠学カレッジ推進会議に関する要綱」をご覧ください。要綱第 4 条に「推進会議の参加者は、その互選により推進会議を進行する座長を定めることができる。」となっております。どなたか座長をお願いするにあたりご意見はございませんか。
佐々木委員	事務局に一任でどうでしょうか。
典 礼	事務局に一任という声をいただきましたので、僭越ながら事務局から案を出させていただきます。座長には、区長会の代表であります「宮嶋委員」をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。
全委員	異議なし
典 礼	ありがとうございます。ご異議もないようですので、事務局案のとおりとさせていただきます。それでは、3 の議題に入りたいと思います。議事の進行は、座長をお願いすることとしますので、宮嶋委員に議事の進行をお願いいたします。恐れ入りますが、正面の席へご移動ください。
座 長	座長として、議事進行を努めさせていただきます。議事が円滑に進むよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。本日の議題は、(1) 令和 6 (2024) 年度事業の計画概要、(2) 生涯学習講座の運営状況に関する調査結果となっております。

事務局	始めに、議題（１）の「令和６（２０２４）年度事業の計画概要」についての説明を事務局お願いします。 それではお手元の資料１に基づき令和６年度のみよし悠学カレッジ事業の概要についてご説明させていただきます。令和４年３月改定の「第３次みよし市生涯学習推進基本計画」の基本理念である『学びあい ふれあい 支えあい 人と人とがつながる 生涯学習』に基づき、講座開催に取り組みます。１基本方針にありますように市民のニーズに応えた講座を開催するにあたっては、（１）のとおりに引き続き「公開」「生活創造」「国際理解」「情報・通信」の各分野で実施します。また、（２）（３）のとおりに生涯学習になじみのない人でも気軽に参加できるように入門から初級、中級、応用など習経験に応じた講座内容を企画します。（３）（４）のとおりに各種優先講座の開催、社会の変化に合わせた講座の企画に取り組むとともに、ホームページや広報みよしを活用した広報に努めます。（６）のとおりに子育て中の人々が講座に参加できる環境を整えるため、託児の充実に努めます。２講座開催事業につきましては、春夏講座の内容を中心に記載しております。本年度、市民の方々が身近な場所で気軽に参加していただけるよう、おかよし交流センターで１４講座を企画しましたが、令和６年度は３０講座開催を目指し充実を図ってまいります。春夏講座のおかよし交流センター開催講座は□囲いのとおりですが、※にありますように、関係課と連携した講座も増やしていきたいと考えています。愛知教育大学との連携公開講座については、３講座を予定しております。開催時期については、７月・８月で調整している段階であります。春夏講座の内容については、以下のとおりですので、ご一読ください。なお、春夏講座の募集については、３月１日から３月２４日までを予定しております。次に３の生涯学習サービス事業については、引き続き、「調査研究」「情報提供」「支援」の３事業を行ってまいります。特に来年度は、先程課長のあいさつにもありましたように、調査研究事業の新規講座の企画の一環で、若者を対象としたプログラミング教室を開催して、将来社会で必要なスキルの先取りを目指していきたいと考えています。最後に、おかよし交流センターにおける生涯学習講座の充実についてですが、人口で約４割、講座申込者数で約５割をしめているおかよし地区の市民の方々が、気軽に参加していただけるよう、今後も講座の充実を計画的に行っていきます。説明は以上のとおりです。よろしくお願いします。
座長	それでは質疑に入ります。ご意見ご質問等がありましたら挙手をお願いします。
佐々木委員	最後のところのおかよし地区の人口と申し込み数でこのようにしますというお話は大変いいと思います。もう少し踏み込みまして、２５行政区の講座申し込み数で、８％以上の申し込みがあったところは、新屋、三好上、三好ヶ丘で、おかよし地区はとにかく圧倒的に多いというのはここに書いていただいたとおりなんですけど、他の地区では対象人数に対して申し込みはどんな状況かっていうのはですね、おかよし地区以外では、何人の対象に対してどれぐらいの方が講座を受けたいということで申し込みをしておられるかというようなところを調べていただくと、より多くの方に講座を受けてもらえると思います。まず、おかよし地区はとにかく人口も多いし、申込者数も半分近くを占めてるということで手を打っていただいて良かったと思うんですが、２番目の地区とか、今度、みなよし地区にも施設ができますよね。そういうところをもう一つの拠点にはならないかとかですね、なるべく多くの方にこういう充実した生涯学習をやっていただくにつきまして、第２歩の調査の方ぜひお願いします。

座長	とてもいいことですね、やっぱり全体がどのくらい進んでるかってことを市の方から調査してもらった方がいいですよ。
佐野委員	私の福谷地区のことですけれど、生き生きクラブとか老人クラブの方たちがすごく活発に行動してらっしゃる中でいろんな催しを行ってみえるんです。私はそういう現場を見てるもんだからなるべくみよし市の生涯学習講座のことを宣伝はするんですけれども、どうしても地元での活動を重視する人がすごくいるなっていうことを実感しております。萌生でもいろいろやってらっしゃる方もいて、福谷でもすごく活発に活動していることを実感しています。
佐々木委員	私は新屋に住んでまして、この地区も秋の文化展みたいな形ですね、写真の展示とかありますけども、情報通信講座とか国際理解とかはあまりやってないような気がします。
事務局	どうしたら出てきてもらえるかみたいな話の中で、今回の文化芸術とは違うんですけども、家で引きこもって出てこないような高齢者の方に、地域の公民館、集会所ところで茶話会のようなことをやっていたりとか、ちょっとお話でもしようよっていうような形のイベントだったりするんですけれども、そういった声掛けをしても気がない人はなかなかないところの現状がございます。主に今の話は市役所の長寿介護課の話になるんですけれども、さらに生涯学習となるとまた気軽に来るというのをまたさらに学習をする、覚えるとかの気がある方じゃないとなかなかというところもございまして、簡単にこれやれば来るなっていうところが難しいところです。あと各地区でというような形の中で令和5年度におかよし交流センターで講座を開催させていただきました。将来的に先ほどお話あったみたいに、南の方で、みなよし交流センターが予定でいくと令和8年度ぐらいから使えるというようなところで今進めているところでございます。将来的には完成した暁につきましては、うちの課の方も、生涯学習でこの建物で必要なもの、今おかよし交流センターで不足するようなものがあればこういう設備もいるよってことは、意見を言わせていただいておりますので、完成し竣工した暁には、あちらの方でも講座を開催していきたいと考えております。
事務局	補足になるんですが、拠点として、北の方であればおかよし、なかよしで言えばこのサンライズ、南の方でいけばみなよしの3拠点を一応検討してます。
事務局	先ほど佐野委員が言われたようにですね、やっぱり家の近くでやっていると、おかよし交流センターやった場合、近くの方に行かれる傾向があるのは把握はしてます。新たにおかよし交流センターで始めたことによって、25パーぐらいの方が初めて生涯学習を受講されており、反面、サンライズで受講していた方が、近くのおかよし交流センターでやりますという人もいますので、純粋に増えていくだけではありません。サンライズは生涯学習に特化して最初から作っている施設になりますので、パソコンの部屋があるんですけど、やっぱりそういうのはおかよし交流センターとか、計画してますみなよし交流センターはそこまでの作り込みが難しいので、ある程度やれるものは制限されるかなとおもいます。ただ、調理室はみなよし交流センターの方も作ってくださいと、おかよし交流センターにも調理室あるので料理講座なんかはやれるかと思えます。なかなか同じ機能というのは難しいですけれども、予算もあるのでその中で聞いていただければ要望は出しておるような状況です。

座長	次に、議題（２）の「生涯学習講座の運営状況に関する調査結果」について事務局からの説明をお願いします。
事務局	それではお手元の資料２の「生涯学習講座の運営状況に関する調査結果について」報告いたします。調査は、昨年１０月に、調査項目は「１講座の企画・運営」から「８講師の発掘」までの８項目に亘って実施し、刈谷市を始め６市町から回答がありました。個々の調査項目の説明に当たり、各市町の人口規模、財政規模を把握いただいた上で各調査項目をご覧いただいた方が、みよし市の生涯学習講座の実態が把握できると考えますので、初めに「■人口・予算規模」を記載いたしました。刈谷市、豊田市及び安城市については、人口、一般会計予算共にみよし市の２．４倍以上ありますので、類似の豊明市、長久手市を中心に比較しながらご覧いただければと思います。「１講座の企画・運営について」ですが、刈谷市、豊田市、安城市は企画・運営を支所・公民館も関与している一方、その他の市町は生涯学習担当課が行っています。「２講座内容について」ですが、豊明市が業務委託により年間３０８講座開催する一方、長久手市は１６講座と同規模の市においても、生涯学習の政策方針の違いが顕著であります。「３応募・受講者数について」ですが、講座内容、講座規模が市町ごとに特色があ比較対象は難しいですが、長久手市は、個別の講座の応募状況はわかりませんが、定員総数に対して応募者数が下回っています。「４応募方法・受講者決定方法について」ですが、各交流館で指定管理で講座を開催している豊田市を除き、インターネット、窓口、郵送で応募受付をしている状況です。受講者決定については、定員を超えた場合は、抽選を行っております。「５受講料」ですが、料金設定は、市町ごとに違いがあり、みよし市においては、４年毎に、みよし市行政改革推進委員会において受益者負担の見直しをすることとしており、市内の公共施設使用料や各種手数料などの改定を行っており、講座受講料も同様に見直しを行っているところです。講座料の支払いは、いずれの市町も窓口での現金支払いで、電子マネー等による方法は採用しておりません。「６託児サービスについて」ですが、託児を行っているのは７市町中４市で、そのうち託児室を設置しているのは、刈谷市とみよし市で、安城市と豊明市は会議室を代用しています。託児スタッフは、みよし市を除きボランティアや研修修了者による登録制となっています。７「広報について」ですが、いずれの市町も、広報、ホームページ、自治区施設での配架等により周知しています。８「講師の発掘について」ですが、詳細は不明ですが、公募による講師の発掘を４市が実施しています。みよし市においては、講座の質を左右する講師については、講師からの紹介、他自治体での活動実績等を勘案しながら、間違いのない講師の選定に努めています。説明は以上となります。
座長	それでは質疑に入ります。ご意見ご質問等がありましたら挙手をお願いします。
間澤委員	質問じゃないんですけどもこれを見させていただくと、みよし市は充実しているなと思うんですけども、この託児のところがお金がかかるので、もし無料になるともっと若い産休中のお母さんとかも受講できるのでいいなという希望でございます。あと講師の方たちの質が本当に毎回素晴らしくて、よく考えて講師を決めていただけるのでありがたいと思います。
佐々木委員	運営スタッフの方は何人くらいの方で、大変一生懸命やってくださってるんですけども、わかる範囲で結構ですけど、みよし市の場合何人くらいの方でこれだけのことを運営しておられて、他の市と比べてどうなんでしょうか。

事務局	ちょっと他の市の状況はそれぞれ組織も違ったり、例えば豊田市ですと指定管理で各支所でやってますので、みよし市の場合は、講座を専門に担当しているスタッフ6人おまして、あと私が事務的な担当で、もう一人の職員にも一部担当してもらって実質的には8名でという状況です。
佐々木委員	それで158講座を回して、私も英語の関係とパソコンの講座いつも受講させていただいてるんですけど、本当にしっかりした講師だと思いますので、ありがとうございます。
事務局	先ほどご意見いただいた託児の料金についてなんですけれども、基本的にはかかる費用を割り返して出すっていう形と、あとは近隣のこの資料ですと安城市の金額が載ってるもんですからそれと比べてもみよし市はちょっと高いかなという数字出ておりますので、毎年の見直しではなくて数年に1回見直しをしてるもんですから、その際にまたその近隣の状況だとか、そのときにかかる経費だとか見させていながら、ただゼロというのはなかなか受益者負担の原則もございまして、利用される方が多少でもご負担いただくっていう考えでございまして、その辺りちょっと考えつつ、この580円という、あの自己負担分についてはまたその機会に検討させていただきたいと思います。
佐々木委員	今日、東海学園大学の吉岡課長様にも来ていただいております、前回のときに、東海学園大学さんのSDGsのシンポジウムのお話をさせていただいてます。私自身はちょっと行けなかったんですけども、みよし市民の人たちがどんなふうな参加だったかっていうこととですね、先ほど資料1の方で、愛知教育大学との計画を考えてますというお話があったんですけど、令和6年でいきますと東海学園さんとの連携のところの話のちょっと聞かせていただければと思いますがいかがでしょうか。
吉岡委員	東海学園大学の連携講座は、ここには載ってないんですけども、体操教室をみよし市と一緒に全10回の講座をやっています。ちょっと文化的な講座ではなくて体を動かしたりとかあとみよし市と一緒に健康増進についての取り組みの方でやっています。高齢者の65歳以上の方を対象にして、大体30名ぐらいで10講座ぐらい、プラスアルファで体力測定をやって、市の方にも状況をフィードバックしていくといったところで、メインになってるところでございまして。あと、SDGsシンポジウムにつきましては、告知をしたんですけども参加者の方はゼロで、多分、交通機関のところもあったのかもしれないかなというところでもございまして、新聞の折込とかかなり積極的にさせていただいたんですけど、参加いただけなかったといったところでもございまして。引き続きどんどんやっていきますので、また告知させていただきながらですね、ご参加いただけるようなところでできればと考えています。
佐々木委員	夜間とかですね、日曜日にですね、確かいくつかの講座があったと思うんですけども、これは昼間働いておられる方々に向けてスタッフの方は大変だとは思いますが、そこらはさらに充実するとかですねそんなお考えはあるのでしょうか。市役所を退職された方が先日ちょっとお話をしておられて、佐々木さん昼間そういう勉強に行けるのはゆとりのある人だけですよと。なかなか、最近は高齢の方も一生懸命仕事をしておられたりして、なかなか昼間そういう講座に出

	ることはできなくて、行くことができるのはゆとりのある方々だけですよというふうにことを言っておられました。そういう意味だと、やっぱり確かに思い浮かんだのはですね、佐野委員がおっしゃられたあの生き生きクラブで、木曜日の夜はカラオケクラブをやるとか、何曜日の夜は新屋地区もですね、あの夜に、生き生きクラブのいろんなそういうお楽しみ会があるんですね。そういう意味で言うと、やっぱり昼間働いておられる方が、英語とか情報の勉強したいとなると、夜とか日曜日とかになってしまう。今、実際に勤労者向けの講座を進めておられるんですけども、さらに充実をされて、もうちょっとたくさんの方が講座を受けることができるのかなというような気もするんですけどいかがでしょうか。今何講座ぐらい土曜日、夜間にやっておられるのでしょうか。
事務局	夜間講座は、主に情報通信関係で、昼間会社で働いていて、エクセルとか、特にエクセル関数とかワードでもう少し早く文章を作りたいっていう方がお見えになって、夜の講座は、主に情報通信を関係で数講座させていただいております。あと土曜日ですとやはり語学関係、それから土曜日に情報通信で、1日の講座でずっと朝から夕方まで1日講座を開催しております。平日は夜はちょっと家のこともあるので、土日休みのときに集中してやりたいんだっていう方を対象に1日の集中講座というのも数講座やっています。講師の都合でどれだけ増やせるかっていうこともありますけれども受講者の方のアンケートを見ながら企画を考えていきたいとおもいます。
座長	せっかくこうやっていっぱい計画させてもらってもね、いざ開いたら、やっぱり人が来ないっていうのも悲しいことですね。何かいい方法があればねいいんだろうけども、細かくやってもらって、やっぱり人が来ないと大変で、情報はいくら流しても私ども行政区でもそうなんですけども、いっぱい流しても参加しないというものが一番悩みですけども、先ほどもいきいきクラブの問題が出ましたけども、やっぱりいきいきクラブもやっぱり元気な方はどこでも参加して市がバスを無料化だとか、それからタクシーの問題だとかいろんなことあると、確かに出る場所が違って今度はスーパーとかそういうところを行って、こういう生涯学習とかがちょっと薄れてるかなということで現状です。どちらにしても、やっぱり健康で、学び合えるのが一番いいんだろうけどもなかなかできなくて、ふれあいの方は健康の人はふれあっているんですけども 朝日でも集会所で健康の問題だとかで先生を呼んで話をしましょうと言ってもなかなか集まらない。
事務局	先ほど座長がおっしゃったように講座を企画したけど応募が少なく講座が開催できないことは毎回2、3あります。前回もご説明いたしましたけど、春夏講座で非常に人気が高かったのも、これは秋冬もいけるなと思ってやってみるとですね、応募が少ない。前回人気があるからやってみると応募がないとか波もありましてその辺をいろいろ様子を見ながらなるべく多くの方々に参加していただけるよう新しい企画などもやっております。最近の講座では、手相が非常に人気が高く、秋冬講座で終活を、次回の春夏では相続を計画しています。多くの方に参加していただけるようスタッフもいろいろ企画考えています。
間澤委員	講座を皆さんに知っていただくっていうことで、若い方は今はみんなSNSなので、例えばの感想をインスタとかXとか、そういうのでちょっと感想を述べてもらうっていうか、受講すると必ず感想を書きますよね。それを例えばちょっとその何か通信販売の化粧品じゃないけど、これを塗ったらこんなみたいな、そんな雰囲気の、何か受講生の声の一言これをやったら10歳若返りましたとか、ルー

	ビックキューブとかそういうのをなんか孫と一緒に楽しめるようになりましたとか、何か一言感想みたいなのをちょっと吹き出しふうに入れてみるとか、なんかそういうの見て面白そうと思ったりとかいうのはどうかなと。あと若い方なんかはやっぱりもうSNSなので、何かハッシュタグでヒットするような感じの、そういうのを入れたら若い方も参加が増えたりするのかなと思ひましていかがでしょうか。
吉岡委員	全く同感です今、もう本当に高校生とかを対象にして、我々も受験のいろいろな発信をするときにですね、もうホームページじゃなくてSNSでインスタ、T i k T o k もそこを意識してやらないともう見てくれないっていうところあるんで、結構、文字よりか先ほど言った吹き出しとかぱっと見たらわかるようなのが一番引っかかるようです。引っかかったらあとはもう今の若い人たちって結構調べるので、そういうふうにいけばこれからいろいろな若い人の取り組みっていうところがあるんであれば、そういうSNSはもう利用しない手はないのかなと、無料です感性は非常にもう若い人にも負けちゃうんであれなんですけども、もう使わない手はないんじゃないかなっていうのちょっと思ひました。
事務局	例えば料理なんかで、美味しそうな完成品ができましたとか、そういうようなことですよね。ちょっとご意見参考にさせていただいて、ちょっと私あんまりそういうところ得意じゃないので、できる職員に聞いて検討させていただきます。
座長	以上で、本日の議題を終了いたしました。長時間ご意見等をいただき、ありがとうございました。事務局へ進行をお返しします。
生涯学習推進課長	貴重なご意見をいただきありがとうございました。本日、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえまして、今後の講座の企画・運営を進めてまいりたいと考えております。
典礼	最後に礼の交換をお願いいたします。一同ご起立ください。一同礼。本日はありがとうございました。